

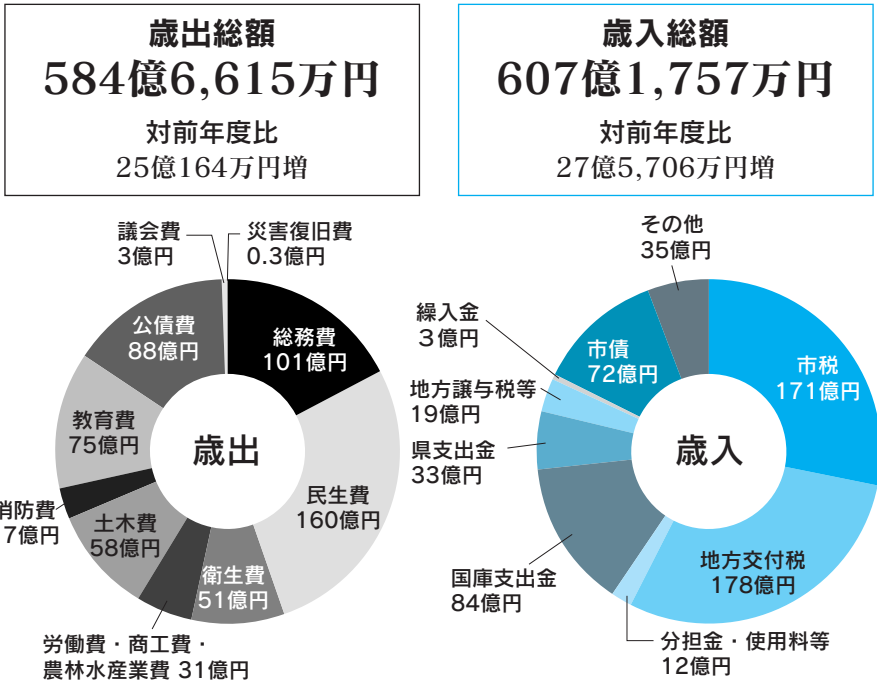
決算報告

平成25年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算がまとまりましたのでお知らせします。

一般会計の決算規模は「歳入607億円」、「歳出585億円」となり、差引22億円の内、繰越財源の18億円を除いた実質収支額は5億円(四捨五入)の黒字となりました。

問 財政課 (☎ 65-6506)

一般会計



※ () 内の金額は、前年度との比較

歳入内訳

市税 170億9,331万円(1億6,391万円減) 市民の皆さんからの市民税、固定資産税、軽自動車税等	地方交付税 178億1,019万円(1億3,287万円増) 人口や税収に応じて国から再配分されるお金	国庫支出金 84億4,276万円(24億3,934万円増) 国が特定の事務事業に対して交付するお金
県支出金 33億515万円(1,444万円減) 県が特定の事務事業に対して交付するお金	市債 71億9,540万円(4億1,050万円増) 市が行う事業等の借金	地方譲与税等 19億2,536万円(5,034万円増) 国や県が徴収した税のうち、市町村に配分されるお金
繰入金 3億2,405万円(3億732万円減) 各種基金から繰り入れるお金	分担金・使用料等 11億5,484万円(2,109万円減) 保育所や幼稚園の保育料、市営住宅家賃など	その他 34億6,651万円(2億3,077万円増) 諸収入、寄付金、財産収入、繰越金

歳出内訳

総務費 101億2,643万円(27億5,188万円増) 人権施策、庁舎管理、交通対策、防犯対策、自治振興など	民生費 160億73万円(1億6,527万円増) 児童、高齢者、しょうがい者の福祉推進など	衛生費 51億184万円(1億5,327万円増) 予防接種、母子保健、健康増進やごみ、し尿の処理など
土木費 57億8,133万円(21億2,382万円増) 道路、公園、公営住宅等の整備や除雪など	消防費 17億1,705万円(3億6,423万円減) 消防・救急活動、水防や災害対策、原子力対策など	教育費 74億8,477万円(14億1,212万円減) 学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進や文化財の保護等
労働費・商工費・農林水産業費 31億5,931万円(2億8,775万円増) 勤労者の福祉、商業・観光、農林水産業の振興など	公債費 87億8,601万円(12億2,216万円減) これまでの施設整備などのために借りたお金の返済	議会費 2億8,252万円(800万円減) 市議会の運営経費
	災害復旧費 2,616万円(皆増) 台風等の災害を受けた箇所の復旧経費	

特別会計

区 分	歳 入	歳 出	差 引	特 徴
国民健康保険	119億952万円	117億9,324万円	1億1,628万円	1人当たりの医療費は増えてきましたが、保険給付費の伸び率が見込みを下回ったことにより、黒字となりました。
診療所	4億7,526万円	4億7,526万円	0円	患者数の減少とともに、診療所の運営は年々厳しくなっています。繰越金、基金繰入金を除く単年度収支は赤字となっており、より一層効率的な運営に努めます。
後期高齢者医療保険	11億3,019万円	11億2,853万円	166万円	後期高齢者医療制度は、市と滋賀県後期高齢者医療広域連合が事務を分担して運営しており、市は保険料の徴収事務等の業務を担っています。
介護保険	98億6,664万円	97億5,899万円	1億765万円	保険給付金は前年度より増えました。差引額は、国県支出金等の確定に伴う返還金の財源とするため繰越しました。
休日急患診療所	3,189万円	3,189万円	0円	内科および小児科の初期救急医療を実施するとともに、市広報紙やチラシ等による啓発活動を行うことで受診者数の増加を図り、総合病院の負担を軽減しました。
公共下水道	51億4,751万円	51億4,061万円	690万円	使用料で汚水処理費の全額と資本費の一部を回収しました。
農業集落排水	13億7,312万円	13億7,292万円	20万円	修繕費や電気代の値上げなどによる管理経費の増高分を一般会計繰入金で補てん。使用料で維持管理費の全部が回収できず、依然として厳しい状況です。
簡易水道	5億4,545万円	5億1,178万円	3,367万円	黒字となったものの、水道料金で維持管理費の全額を回収することは困難でした。引き続き、施設の統廃合等によるコスト削減と適正料金での使用者負担統一により、経営状況の改善に取り組めます。

企業会計

病 院 事 業			
長浜病院		湖北病院	
歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
122億781万円	122億9,010万円	22億2,206万円	22億9,745万円
差引	△8,229万円	差引	△7,539万円
長浜病院は、入院収益が増収となりましたが、材料費が増加したことなどにより今年度も赤字で、湖北病院は、常勤の外科医師1人を確保しましたが、看護師不足に伴う療養病棟の入院受入制限などにより収益が減少したため、今年度も赤字となりました。 今後は、長浜水道企業団への事業統合(平成27年4月予定)のなかで、さらなる経営の合理化、効率化を図っていきます。			

木之本・高月水道事業	
歳 入	歳 出
2億6,133万円	2億8,561万円
差引	△2,428万円
給水人口の減少、水需要の低迷のなか、引き続き厳しい経営状況が続いています。 今後は、長浜水道企業団への事業統合(平成27年4月予定)のなかで、さらなる経営の合理化、効率化を図っていきます。	

老人保健施設事業	
歳 入	歳 出
4億3,135万円	4億2,897万円
差引	238万円
入所者・短期入所者・通所者延数が減少したものの、黒字となりました。 今後も、高齢化が進む湖北の介護ニーズに応えるべく、湖北病院、訪問看護ステーションと連携を図り、日常生活の介護サービスを一体的に提供していきます。	

市の会計区分について

市の会計	一般会計	福祉、教育、道路整備など、市の基本となる事業を行うための会計
	特別会計	国民健康保険、介護保険のように対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要のある会計
	企業会計	水道など、民間企業と同じように利用料をもらってその利益で運営している会計